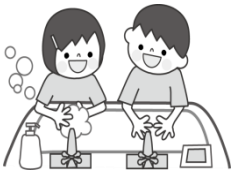
◆避難所等における集団生活中には，さまざまな感染症の発生が懸念されます。感染症予防を心がけて下さい。

風邪等の呼吸器感染症



●咳・くしゃみをする時は，周りの人から顔をそむけましょう。
●咳が出る時は，軽い症状でもマスクを着用しましょう。
●外から帰った際は，手洗いまたは手指消毒をしましょう。

破傷風

●破傷風は，けがの傷口が土などで汚れていると感染しますので，被災地で作業をする際には，十分ご注意ください。
●傷口に土が付いたり，がれきや釘などでけがをした場合には，傷口をよく洗い，医師の診察を受けましょう。
●万が一，けがをして３週間くらいの間に，顎や首の筋肉のこわばり，口が開けにくいなど，破傷風の症状がみられたら，すぐに医療機関を受診してください。

レジオネラ症

●レジオネラ菌は，河川・土壌などに広く存在するため，災害後のがれきの撤去作業等で吸入し感染する恐れがあります。
●特に，高齢者での発生が多く，重症化すると死亡する場合もありますので注意が必要です。
●作業を行う際は，マスクを着用するなどして予防しましょう。

ノロウィルス等感染性胃腸炎

●食事の準備や食事の前，トイレの後はよく手を洗いましょう。手を洗えない時は手指消毒で代用しましょう。
●排泄物や吐物・おむつの処理は、素手で行わないようにしましょう。汚染されたものの消毒は，塩素系の消毒剤（ハイターなど）を使用してください。

（作成：茨城県保健福祉部）